



PHVがEVと呼ばれる日 ～生命へのコネクテッドカー～

7月の西日本豪雨の報道がまだ続く中で、9月4日に近畿と東海地域及び北海道の一部に大きな被害をもたらした台風21号と北海道胆振東部地震。東日本大震災以降続く各地の地震や風水害を目の当たりにして、地理的にそして歴史的にも幾多の災害と歩んできた日本人をして、まさに“災害列島”という自虐的な表現が使われる事態となった。その台風21号に限っていえば、水害よりはむしろ風害の被害がより大きかった。特に多くの電柱倒壊や送電線への倒木の影響による長時間の停電は、高層マンションでのエレベーター停止で病人の緊急搬送ができない、クリニックで透析が受けられないなど生命に直結する状況にもなる。わずか1日程度でも電気がない事態は運が悪かったでは済まないケースがあるのだ。当社のある四日市市でも水害よりは風害で52,600戸が停電

となり、復旧に10時間から24時間を要した。しかしながら、日本の電源復旧は早いという盲信と高額なコストの問題からか、家庭はもちろん中小企業においても自家発電設備を保有していることは稀だ。確かに大型の発電機を万が一に備えておくことは、その必要スペースや導入と維持管理費用の壁が高いのも事実なのだが、発想を変えれば普段設置する場所もあり自



PHVは自力で公道も走れる移動式発電機

家発電設備として使えるものにPHV(プラグインハイブリッド車)がある。家庭用電源から充電できる車という認識が強いPHVだが、HV(ハイブリッド車)と異なり電池容量と出力が大きいためガソリンエンジンで発電して電池に送り、その電池から電気を家庭に送ることができる。大抵はPHVのオプションとなっているV2H(Vehicle to Home)への対応と、使う家や事務所にはパワーコンディショナーという簡単に言えば分電盤のような設備が必要になるものの、家一軒1日分と言われる6000W=6kWタイプで価格は50万円から100万円。命に関わる切迫した状況には有難い存在になるはずだ。EV(Emergency Vehicle)として、ネットワークにつながるコネクテッドカーならぬ生命をつなげるコネクテッドカーこそ災害列島に普及させるべきではないだろうか。

ココに技あり!

餅は餅屋のインターンシップ

当社では、三重大学・鈴鹿高専よりインターンシップ研修生を受け入れています。受入人数はその年によって3名から6名ほどとまちまちですが、嬉しいことに毎年学生さんからご指名をいただいております。職種が珍しいということもあると思いますが、研修生がインターンを終えた後の後輩への口コミ効果もあるようです。これは、当社のインターンシップカリキュラムが、三重大学の地域連携プログラムを活かして学生自身に「受けたいインターンシップ研修とは」を考えてもらった内容だからなのかもしれません。社内にも学生への指導やコミュニケーションを通じて、様々な気づきが生まれるといった効果も出ています。



社員プチコラム

川西 智子(環境事業部 四日市分析センター ラボGr)

社会人になって深くはまったものがあります。それはカラオケです。1人カラオケも好きですが、大人数で歌うカラオケはまた違う楽しさがあります。カラオケに深くはまるきっかけとなったのは社内で結成した「歌部」です。カラオケが好きな人たちが集まり、自分たちの好きな歌をひたすら歌います。最初は4人だったのが今では10人まで増えました。人数が増えたのでいろんな方の歌を聴く機会が増え、自分が今まで知らなかった曲に出会うことができます。今後もどんな曲に出会えるか楽しみです。



かわせみ通信 読者様への感謝企画

「クイズに答えて三重の味をGET!」

正解発表

先月号のクイズ企画へのご応募誠にありがとうございました。正解は③除菌でした。(下記説明をご参照ください。)今回は正解者の方全員と、不正解者の中より抽選に当選された計30名様へ商品を発送させていただきます。また次回もぜひご参加ください。

クイズ

下の写真は大腸菌分析を行うための準備風景です。この作業は何を行っているのでしょうか?

1. 滅菌 2. 殺菌 3. 除菌



では何がどう違うのでしょうか…ちなみに今回の正解率は60%でした。

	項目説明	作業例
滅菌	増殖性を持つあらゆる微生物を完全に殺滅又は除去する操作のこと	火炎滅菌・乾熱滅菌・蒸気滅菌(オートクレーブ)など
殺菌	病原性や有害性を有する微生物を死滅させる操作のこと。滅菌と違い具体的な程度の定義はなく効果は保証されない。	紫外線殺菌・低温殺菌など。
除菌	対象物から菌を除いて減らすこと。対象や程度を含まない概念。	アルコールによる拭き取りなど。

編集後記

台風や地震の影響により被害を受けられた皆様方に、心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧をお祈り申し上げます。ここ三重県も大停電となったため、電気のない生活に直面しました。周囲と連絡が取れるスマートフォンのおかげで不安はなかったのですが、電池残量が少なくなることが不安でした。予備バッテリーの常備がこれから何より必須ですね。(みっちー)